

【予防】病気の予防にも有効

犬猫の避妊・去勢手術済どうぶつの割合

【犬猫の避妊・去勢手術済どうぶつの割合】

	犬	猫
男の子	12.9%	42.8%
女の子	13.7%	36.6%
全体	13.3%	39.9%

調査方法：アニコム「どうぶつ健保」加入者の全データより、加入時年齢1歳+更新時に1歳を迎えた犬126,075頭、猫9,944頭を対象に調査（2006年9月12日現在）。

避妊・去勢手術は、生殖器疾患の予防になる。男の子の去勢手術には「攻撃性の低下（喧嘩の減少、しつけのしやすさ）」「マーキングの減少」「交配抑制によるストレスの減少」、「肛門周囲腺腫、前立腺の病気、会陰ヘルニアなどの発症率の低下」、女の子の避妊手術には「生理・発情がなくなる」「望まない妊娠を防げる」「子宮、卵巣や乳腺の病気の発症率の低下」などのメリットがある反面、手術が全身麻酔下で行われるというリスクもある。

避妊・去勢手術をするかしないかは、家族の選択にかかっている。家族みんなが幸せになれるような納得のいく選択をしよう。